医療を通じて、愛を世界へ。
公益社団法人
日本キリスト教海外医療協力会
JAPAN OVERSEAS CHRISTIAN MEDICAL COOPERATIVE SERVICE

タンザニア・雨宮春子ワーカー活動報告会

「一つひとつの尊いいのちとの出会い」

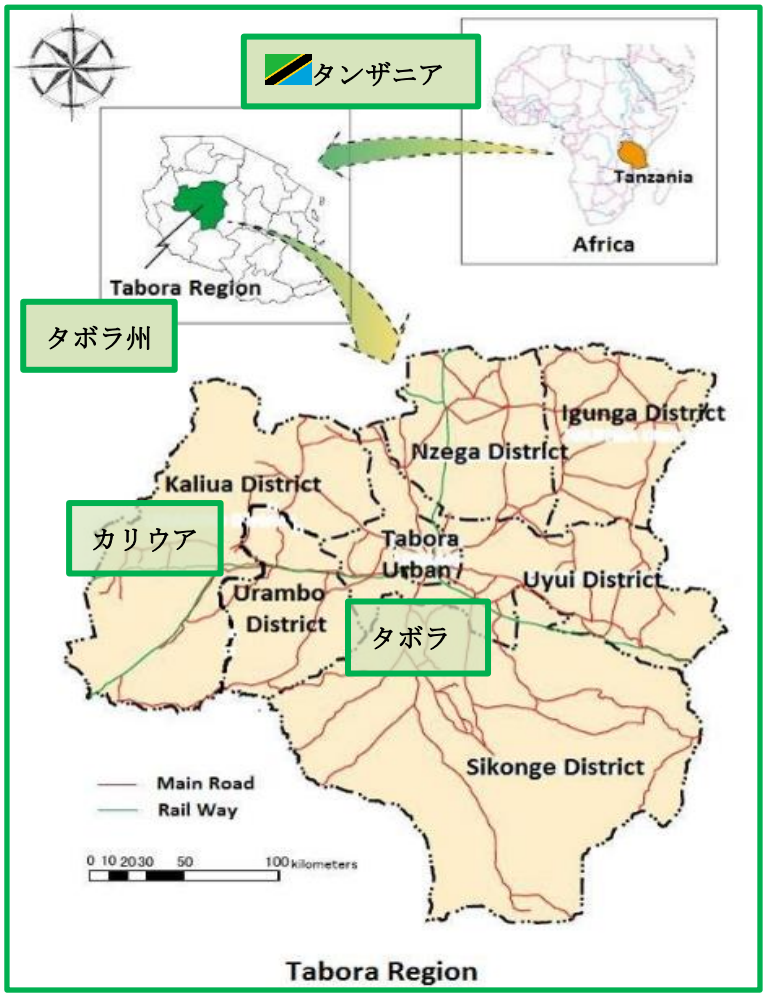
JOCS は 1960 年の設立以来、イエス・キリストの教えに従い、困難の中にある人々の健康といのちをまもり、人々と苦悩・喜びを分かち合うことを使命として活動しています。

2007 年には、タンザニアのタボラ州で、カトリックタボラ大司教区と協力して活動を開始しました。これまでに、ワーカーの派遣、奨学金支援、協働プロジェクトを実施してきました。2019 年 1 月、助産師の雨宮春子ワーカーが、母子保健の活動「ママ・ナ・ムトトプロジェクト」に協力するためにタンザニアに派遣されました。雨宮ワーカーは、一人ひとりの小さないのちに日々向き合い、人々との出会いを大切にして現地の人々と絆を深めてきました。そして、喜びや苦労を分かち合いながら、母と子の健康といのちをまもるため活動しました。日本とは生活環境や保健医療事情が大きく異なるタンザニアの地で、雨宮ワーカーが現地の人々と「ともに生きる」ことにどのように取り組んだのか、どのように絆を深めていったのか、現地での活動を報告します。

雨宮春子ワーカー　プロフィール

看護師・助産師。北海道と大阪の医療機関で看護師として 6 年間、助産師として 9 年間勤務。2011 年の東日本大震災の時は、JOCS の看護師チームの一員として岩手県釜石市にて災害救援復興支援活動に参加。2019 年 1 月よりタンザニアに赴任し、タボラ大司教区保健事務所とその傘下にある聖ヨハネ・パウロ 2 世病院を拠点に活動。ママ・ナ・ムトトプロジェクト（ママ・ナ・ムトトとはスワヒリ語で母と子の意味）を支援している。日本聖公会 北海道教区札幌聖ミカエル教会員。

雨宮春子ワーカーの活動



【タンザニア・タボラ州】

タボラ州はタンザニアの北西部に位置しています。タンザニアの中でも医療が行き届いていない地域の一つです。中でも母子保健には問題が多く、妊産婦及び子どもの死亡率が高い数値を示しています。特に生後一週未満の赤ちゃんの死亡率は国内平均の 4 倍近いため、産前産後のケア、分娩時のケアの改善が求められています。

【派遣先団体】

タボラ大司教区は、タンザニアに 6 つあるカトリックの大司教区の 1 つです。タボラ大司教区保健事務所（TAHO）はタボラ州で 10 の保健医療施設を統括しています。

【活動拠点】

タボラ州のカリウアにある聖ヨハネ・パウロ 2 世病院は、TAHO が管轄する保健医療施設のひとつです。傘下の施設の中でも赤ちゃんの死亡率が特に多いため、雨宮ワーカーの活動拠点としました。医師補、看護助産師、薬剤師等の資格を取得した 8 名の JOCS 元奨学生が勤務しており、雨宮ワーカーと協力して活動しています。

～現地スタッフの意識の変化～

カリウアの病院では 10 人のお産があれば 1 人か 2 人の赤ちゃんは死産または出生後すぐに亡くなってしまいます。現地のスタッフはこの現実に対し「日常のできごと」という言葉をよく口にします。その言葉に秘められた思いを考えると言葉を失ってしまいます。1 日 3 件の分娩がすべて死産・新生児死亡の日は私に何ができるのだろうかと絶望を感じました。リスクの高いお産に日々直面している現地スタッフの中にも恐怖や無力感を感じている者は少なくありません。中にはお産介助を避けるスタッフもいます。助けることのできないいのちに直面することは現地スタッフの心の傷となり、負担になっていることを感じました。活動の一つとして、カリウアの病院で分娩監視装置を導入しました。これはお産の時に胎児心拍数と陣痛状態を観察し、胎児の健康状態を知るための機器です。まずは胎児心拍を適切に観察する重要性を現地スタッフに認識してもらおうと考えました。ある日、現地スタッフから私に、破水して入院した妊婦さんに分娩監視装置を装着したいから来てほしいと連絡がありました。分娩監視装置を装着すると胎児心拍が下降しており、胎児は酸素不足の状態でした。すぐに緊急帝王切開になりました。しかし生まれた赤ちゃんは自力で泣くことができません。蘇生を施すと赤ちゃんは泣き始めました。手術室には「間に合ってよかった」という歓喜の声があふれました。現地スタッフから「しっかり心拍を確認すれば助けることができるいのちがある」「心拍を確認していなかったらこの子は亡くなっていたかもしれない」と様々な意見が聞かれました。この症例をきっかけに現地スタッフの意識が変化してきたように感じます。救えるいのちが増えることを願います。　【JOCS 会報誌『みんなで生きる』ワーカーからの手紙 2022 年 8・9 月号から要約】